



マリアン

第35号

発行
京都ノートルダム女子大学
同窓会
平成17年4月1日発行
マリアンハウス
京・左京区岩倉幡枝町628
TEL/FAX (075) 701-9149

仲間たちに支えられて



会長 大田喜代子
(4E)

皆様お元気でいらつしやいますか。

酷暑、集中豪雨、記録を塗り変えた大型台風の上陸、十月二十三日の新潟県中越地震と

昨年は日本中が災害に見舞われた年でした。海外においても十二月二十六日にはインド洋

スマトラ沖地震によって二十万人を超える人々が、わけもわからぬうちに大津波にのみ

こまれ、今なお行方不明の方、避難生活を余儀なくされている方が多数おられます。この

ことを重く受け止め、被害に遭われた方々にお見舞金をお送りさせていただきました。一

日も早い復興をお祈りしています。

昭和四十三年卒業後、何年も大学のことなどすっかり忘れていたのが、十年前にフランス語クラスに参加して以来、青春時代を共に

した仲間とその後にも交流したいという思いでマリアンハウスに通うようになりました。現在同窓会は組織の確立、運営方法、事務体制の充実、ネットワーク、会員の住所確認等の作業が増えています。同窓会の事務の方一人や二人でできる仕事量ではなく、多くは仲間によって支えられてきたのが実情です。

自分自身の仕事を山ほどかかえながらも、母校に対する熱い思いで同窓会の世話をする仲間たちに支えられて、この二年間会長の役割を果たすことができました。その間に友人達と共有した日々は私にとってかけがえのない「宝物」となって、今の私に蓄積されている様に思われます。今、ノートルダム女子大学卒業生であることに真の意味で誇りを持っています。

時代を越えて守るべきことや、変化に順応していくことを共に大切にすることがこれからの同窓会の発展につながる道でしょう。今日まで同窓会へご協力を賜りました方々に御礼を申し上げます。

今年度より総会の会費の補助額を増やしました。皆様のおこしを心よりお待ちしております。

目次

仲間たちに支えられて… 会長 大田喜代子	1
第6代学長に就任して… 学長 相良 憲昭	2
顧問挨拶…………… Sr.ベルナルド岩井	2
第3回 ホームカミングデー……………	3
第41回総会のお知らせ……………	4
同期会だより……………	5
第40回総会報告……………	6
会計報告……………	7
支部だより……………	8・9
同窓生短信……………	10・11
留学生のための日帰りツアー……………	12
お知らせ案内板……………	13
アクティビティー便り……………	14
マリアンハウスのお知らせ……………	15
同窓会アクティビティーご案内……………	16

祝御入会

本年度は、英語英文学科一〇名、人間文化学科五一名、生活福祉文化学科一〇一名、生涯発達心理学科一八名、が三月十一日に御卒業になり、同時に第四十一期の同窓会員となりました。
学年委員は次の方々です。

(英) 河合 智子 稲垣 直子
(人) 松本 桜子 金川 泰子
(生福) 葛本 桂愛 中森 晴美
(生発) 今津 幸子 馬場 恭子

母校の英語名と学章が変わりました
(二〇〇一年十一月一日)
京都ノートルダム女子大学
Kyoto Notre Dame University

第六代学長に就任して



学 長
名誉顧問
相良 憲昭

このたび梶田叡一先生の後任として、京都ノートルダム女子大学学長に任命されました。今回の任命にあたっては、本学の歴史上初めて、全教員および主任以上の職員による意向聴取の投票が行われ、その結果が参考にされました。学長の任期も一期四年とはつきりと決められ、再任は二期目の前半二年間しか許されません。つまり、これからの学長は、最長でも六年までしか勤められないことになったのです。

私はこれまでの四年間、本学の副学長として勤務してきました（学長が大学の内部から選ばれたのも今回が初めてです）から、大学にとって今何をしなければならぬかについては、おおむね心得ているつもりです。大学がこれから力を入れてゆかねばならない重要事項のうち、私が特に重視しているのが、学生の保護者、企業、高等学校など、大学にとつての多様なパートナーとの連携です。とりわけ、卒業生の方々との協力は、副学長であったときから優先してきました。卒業生だからこそ、京都ノートルダム女子大学に愛着を

感じてくださっているはずだし、卒業生だからこそ、現在の大学のあり方に対して忌憚のないご意見やご提案を寄せてくださるはずだと思いますからです。

四十年以上を生きてきた本学には、勢いのあるときも、エネルギーが低下するときもありました。私は卒業生の多くが、かつての大学の輝きを懐かしく思っておられることを知っています。その輝きを取り戻すために全力を傾注しますので、どうぞご支援、ご協力下さい。



顧問
Sr.ベルナルド岩井

皆様いかがお過ごしでしょうか？ 昨年の記録的な猛暑と風水害、地震、津波、そして国内外での凶悪な新手の犯罪、テロ、すべてが大きくめまぐるしく動いています。その中で、オリンピックを始めとする、スポーツの世界、文化の世界で日々厳しい訓練を積んでいる人々の爽やかな表情と成果、何の気負いも無く人のために働く若者達になんとも言えない希望と喜びを感じています。五年九ヶ月という短い期間でしたが、キャンパスミニスターとしてこの大学に奉職させ

て頂き、本当に幸せでした。様々な学生達と活動を共にして多くのことを学びました。

勿論、「どういうこと???」と吃驚するようなことも多々ありましたが、ほとんどの場合、彼女達の感性の豊かさ、他者への思いの広さ、求めていることの高さ、そのエネルギー、悩み、などなど、目を見張られました。それは貴い人間の成長過程と神の働きを見る思いでした。同窓会の関東支部と中部支部に出席させていただきましたが、良く準備された会合で、（幹事さま有難うございました）この集りもNDの香り豊かなものでした。何がNDの香りなのだろうと思いついて、聖母マリアを保護者と仰ぎ「徳と知」をモットーとしている事が無意識のうちに浸透しているのではないかと思います。みなさま、神に愛された者として、強く、しなやかに、大きな愛の暖かさを持ってこれからもお元気に過ごされますようにいつも祈っております。

聖書に親しむ

忙しさに追われる毎日、ふと立ち止まりあなたの生き方について考えるひとときです。聖書の一節が語りかけるメッセージに耳を傾け、シスターセリンとともに気軽に話し合いましょ。

第四金曜日 一時三十分～三時

マリアンハウス

第三回 ホームカミングデー

第三回ホームカミングデーは、大学祭一日目の十一月二日に催されました。

マリア館一階のガイスラーホールには、お菓子や飲物が用意され、あちこちで賑やかな歓談の輪が広がりました。

今回は、「懐かしの講義を今一度―それから二〇年後」という企画で、シスター・メリー・ジョセフ続木による教会音楽についての講義をお聴きしました。

シスター・ジョセフは、米寿を迎えられ、益々お元氣な御様子で、典礼聖歌の歴史や、意味を講義され、ピアノを弾きながら指揮をして、聖歌「神のわざを思い起こそう」、「アベマリア」を御指導下さいました。ユー・ジニア館の階段教室に聖歌が響き、この大学でかつて学んだ私達に与えられた素晴らしい機会に喜びをかみしめたひとときでした。

授業の後は、同窓会と在学生のコーラス部と一緒に「旅愁」など愛唱歌を歌い、カレッジソングを全員で合唱しました。

午後は、大学祭実行委員会主催の「デューク更家、トーク&ウォーキングレッスン」に参加しました。更家氏のテキパキとしたトークと身体運動に、ユニソン会館アリーナは、興奮のるつぽと化しました。



シスターメリー・ジョセフ続木

S27年9月 京都ノートルダム女学院教諭
(音楽一般理論、ピアノ オルガン コーラス)
S36年4月 ノートルダム女子大学助手
S38年4月 同講師を経てS48年文学部助教授
S62年3月 同大学定年退職



した。そして参加者全員が、日頃の運動不足解消(?)とばかり、背筋を伸ばし、実技に加わりました。

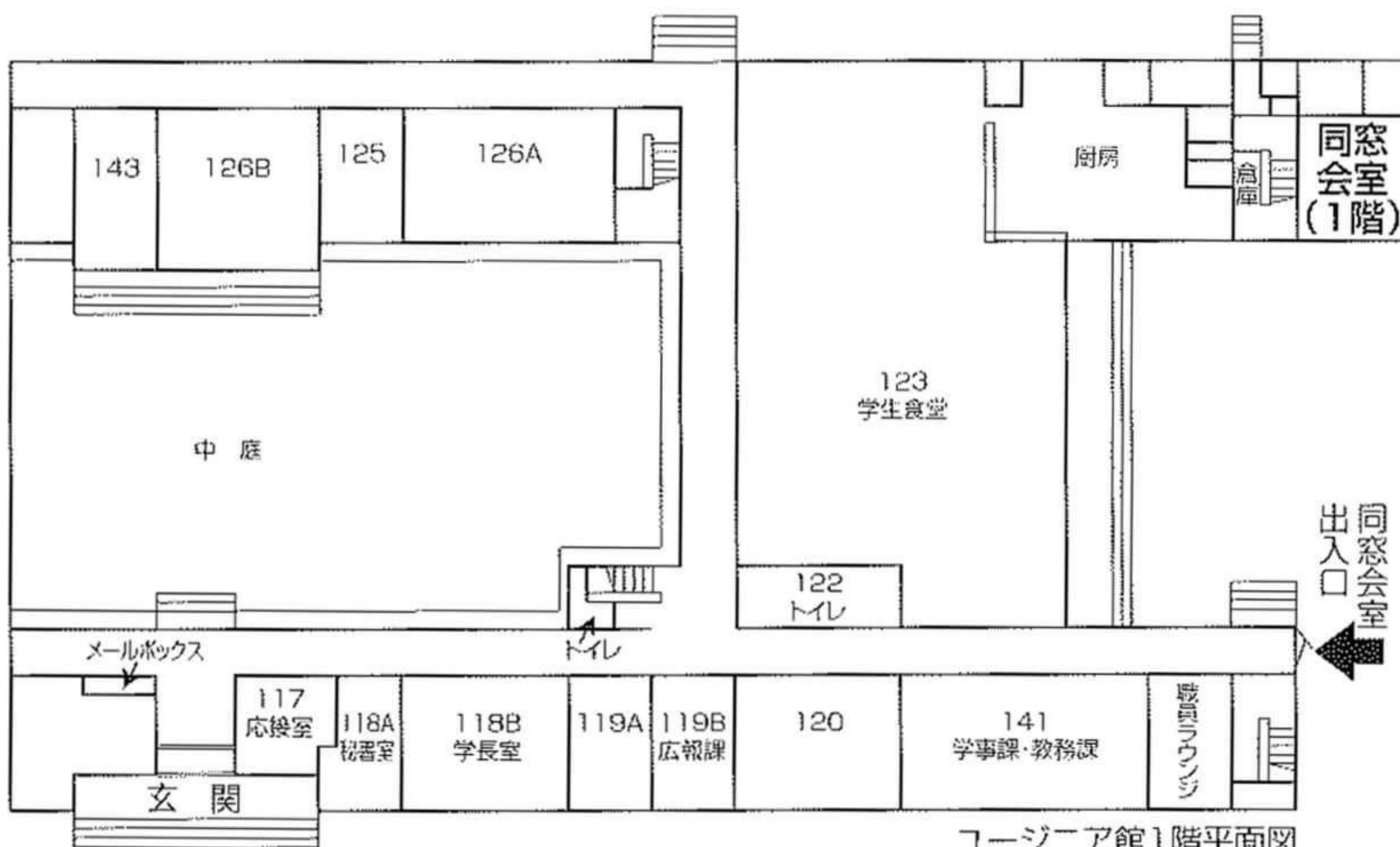
その他、学内では、優しい音色のハンドベルや、マンドリン、琴の演奏に耳を傾けました。

好天に恵まれ、キャンパスでは学生の模擬店をのぞき、楽しく会話も出来ました。

今回の大学祭のテーマは、「花鳥風月―たをやめぶり―」だったそうですが、優雅で心身にみずみずしい女性をめざす母校の在学生に大いに刺激され、又御招待下さった大学に心から感謝致しました。

今年も十一月二日にホームカミングデーが予定されています。卒業生の皆様には、楽しい一日を母校で過ごされては如何でしょうか。

同窓会室移転 (ユニソン会館からユー・ジニア館1階へ)



ユー・ジニア館1階平面図

テレビ館

平成17年度

第41回総会のお知らせ

日時 5月22日(日) 午前11:00(受付10:30)

場所 京都宝ヶ池プリンスホテル「高砂の間」

地下鉄「国際会館」下車 TEL.075-712-1111

会費 6,000円 子供1,500円(ベビーシッターなし)

「カフェ・ライブ」

小林エミ氏 山口 武氏



☆小林エミ
(Vocal)

14才から歌い始め、数々のミュージシャンを輩出した伝説のロック・コンテスト「8・8ロックデイ」にてトップヴォーカリスト賞を獲得するなど、各コンテストをそうなめる。

木村恭子等とともにヴォーカルグループ「フライ・ハイ」のメンバーとして「古谷亮とコンコード」と活動。1981年ビクターより松崎しげるとのデュエット曲「愛と青春の旅立ち」でレコードデビューした。その後、サルサバンド「ロス・ルンベルス」に参加、有山じゅんじをゲストに向かえたCDを発表。現在「Do it!」の他、泉谷しげる等とケニア・ナイロビのコンサートに参加するなど数々のライブステージや、CMソング等テレビで活躍中。



☆山口 武
(Guitar)

1988年 92年までの4年間New Yorkに移住。ストリートミュージシャン、Blue Note出演、CD制作等を行う。

1994年 King Recordsより「Alone Together」を全国発売。

1999年 95年より行っているロン・カーターとのツアーにルイス・ナッシュも参加。

2000年 ロン・カーターとのツアーにハンク・ジョーンズも参加。

2001年 6枚目のリーダーアルバム「The Trio」全国発売。

2003年 白己のロックバンド、ウルトラトリオのCDが全国発売。ロン・カーター、ルイス・ナッシュと日本ツアー。

現在白己のデュオ、トリオ、カルテット、Wes Club等で活躍

今年と同窓会創立四十一周年、五十周年へ向けての第一歩の年となります。十一期生は卒業三十周年記念の年になり、今回お世話をさせて頂くことになりました。

同窓会の活動も多様になり、同窓生の皆様も社会のいろいろな場で活躍されるようになってきました。多様な立場のみならずとご一緒に、楽しい語らいの会をと思い、今回はティータイムにぴったりの「カフェ・ライブ」です。お友達との会話が弾むひとときを、おしゃやれなジャズギターの演奏とボーカル、そして軽妙なトークが盛り上げてくれることでしょう。

三十周年記念の十一期生の皆様はこの機会にぜひ誘い合って、また、一人ではちよつと、ためらいついていらつしやる方も是非気軽にご参加頂き、懐かしい出会いで心をリフレッシュしてください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今年度担当 11期生

松田 佳織
滝口 壽子

11期生の皆様!

30周年記念同窓会もかねています。
ぜひ御出席下さい。

6期生

35周年記念同窓会へのお誘い

今年は早や三十五周年を迎えました。
これを記念してただ今楽しい企画を
たてております。

後日、ハガキにてご案内差し上げます。

幹事代表
山代陽子

祝周年 40周年 1期

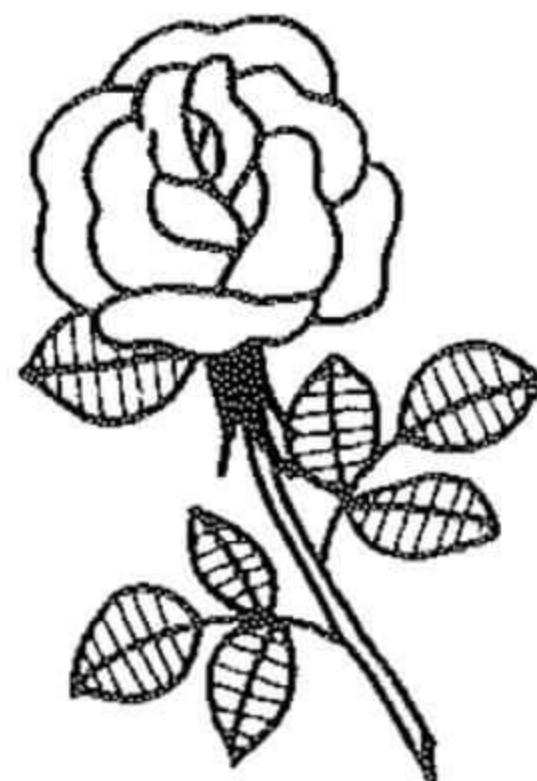
35周年 6期

30周年 11期

25周年 16期

20周年 21期

15周年 26期



『五期生 三十五周年同窓会』

林寺真智子(5E)

平成十六年十月二十日、岡崎法勝寺町の白河院で、五期生卒業三十五周年記念の同窓会を開催致しました。あいにく当日は台風二十三号の襲来で暴風雨との予報に、会のキャンセルまで考えましたが、その暴風雨の最中、雨にも負けず、風にも負けずの二十二名の参加が得られました。おいしいお料理に舌鼓を打ち、学生時代の思い出話に花を咲かせ、子供達のこと、孫達のこと、両親の介護のことなど、話題は尽きず、台風のことなどすっかり忘れているうちに、瞬く間に楽しい三時間が過ぎました。

今回始めての企画で、お泊り組は更に深夜まで盛り上がり、しゃべり疲れて朝寝坊をしてしまう程でした。

「再会は五年後と言わず、？才のお祝同窓会を」と、声が上がりましたので、二年後の再会をお約束して、お名残り惜しく、お別れ致しました。



『十期生 三十周年同窓会』

田藤 博子(10E)

平成十六年十一月二十一日、秋晴れの下、紅葉の美しい「白河院」にて卒業三十周年記念同窓会を開催いたしました。全国各地から三十九名が集合しました。(特に神奈川県の皆様ありがとう)一人ずつ、近況報告をお願いした所、各自個性的なスピーチで、宴会は大盛り上がり。あつという間に時間が過ぎて行きました。子供さんが巣立って夫婦だけの生活になった方、お孫さんがいる方、趣味がプロ級の方、そして、未婚の人やバツイチさん。「人生いろいろ」どんな状況でも同窓会にだけは絶対来ル！そんなバイタリティあふれる軍団が我々十期生です。今回参加できなかつた方々、本当に残念でした。おまけに、歌の得意なSちゃん、の先導で後半はまるで歌声喫茶状態に！もちろんラストは「カレッシュ」を唄って閉会しました。

きなかつた方々、本当に残念でした。おまけに、歌の得意なSちゃん、の先導で後半はまるで歌声喫茶状態に！もちろんラストは「カレッシュ」を唄って閉会しました。



『卒業プレ四十周年同窓会を終えて』

安田 光代(1E)
川勝 宏子(1E)

秋深まる紅葉の美しい京都で、第一期生同窓会を行いました。来年が卒業四十周年ですが、還暦も過ぎ一年繰り上げました。お天気にも恵まれ、周辺のもみじも奇麗に色づいていました。シスターセリン松本を始め、三十名ほどが集まりました。久しぶりの再会でそばに流れる高野川のせせらぎも賑やかな声で消され、とても和やかでした。今回は出欠のハガキに一言をお願いし、皆様のお手元に配り、欠席者にもお送りしました。皆様の近況がわかり、喜んでいただけました。おしゃべりも楽しいでしたが、お二人の方に貴重な体験を話していただき、これからの生活で辛い時にも励みになり、勇気づけられる有意義なお話でした。あつという間に時間は過ぎましたが、次回も多くの方々が元気で再会できることを願いつつ、閉会しました。



秋深まる紅葉の美しい京都で、第一期生同窓会を行いました。来年が卒業四十周年ですが、還暦も過ぎ一年繰り上げました。お天気にも恵まれ、周辺のもみじも奇麗に色づいていました。シスターセリン松本を始め、三十名ほどが集まりました。久しぶりの再会でそばに流れる高野川のせせらぎも賑やかな声で消され、とても和やかでした。今回は出欠のハガキに一言をお願いし、皆様のお手元に配り、欠席者にもお送りしました。皆様の近況がわかり、喜んでいただけました。おしゃべりも楽しいでしたが、お二人の方に貴重な体験を話していただき、これからの生活で辛い時にも励みになり、勇気づけられる有意義なお話でした。あつという間に時間は過ぎましたが、次回も多くの方々が元気で再会できることを願いつつ、閉会しました。

第40回

総会報告

五月の雨に木々の緑映える十六日、同窓会総会が開催された。会場は、お招きした学長、先生方をはじめ六名のシスター、そして再会を喜び合う同窓生九六名で華やき、賑わう中開会。学歌斉唱で心をひとつにし、帰天者のご冥福を祈り黙祷を捧げた。会長挨拶の後、活動・会計報告等、議事はスムーズに進行し、今年度も手芸ボランティアの大きな協力と、同窓生から頂いた寄贈品の販売収益金より、ささやかながら各種団体へ支援金が贈呈された。支部報告に続き名誉顧問梶田学長、顧問のシスターベルナルドよりそれぞれ挨拶を頂き、祝周年学年紹介をもって総会の部は滞りなく終了。懇親会は相良副学長の乾杯で始



まり、二十三期生企画による、ヴァイオリンデュオに、会場はひとときミニ演奏会となり、美しい音楽に聴き入った。大詰めとなり恒例の抽選会では、ミキモトの協力景品のほか、特賞のホテル食事券五本もあつて、ことのほか盛り上

った。マリアンコーラスの美しい歌声は会場をやさしく包み、出席者全員でシヤローム(神の平和)を合唱し閉会。再会を誓い合い会場をあとにした。皆様のご協力に感謝!!



平成十六年度 活動報告

五月

第四十回総会(於 京都宝ヶ池プリンスホテル)
関東、中部支部委員との合同委員会
手芸ボランティア活動開始
各種クラス春期開講

六月

国際交流マリアン奨学基金より留学生に奨学金授与
パソコン講習会

七月

大学マーガレット寮祝別式参列
講習会 「プリザーブドフラワー」
日文研 松栄堂工場見学

九月

講習会 「ゆかた着付け」
講習会 「バザー作品づくり」

日文研 貴船の川床、鞍馬方面

十月

各種クラス秋期開講
マリアンハウス チャリティーバザー

十一月

大学ホームカミングデー参加

講習会 「人間関係について」

物故者追悼ミサ(於 ユニソン会館)

中部支部総会出席

日文研 善峰寺と花の寺

十二月

留学生ツアー(宝塚歌劇)

講習会 「生花でクリスマスツリー」
ノートルダムクリスマスマス(於 ユニソン会館)

一月

各種クラス冬期開講

日文研 新年会(金剛能楽堂)

三月

同窓会新入会員への説明会
第四十一回大学卒業式列席

講習会 「エアロビクス」
(四期生招待)

講習会 「エアロビクス」

日文研 洛西竹林公園

四月

平成十七年度大学入学式列席
会報マリアン第三十五号発行

講習会 「ケーキ作り」

日文研 京都町中美術館めぐり

同窓会会員 コード番号 について

平成16年3月より4と卒業生が卒業し、同窓会コード番号は次のようになります。

40E — 001

卒期	学科	氏名のアルファベットの順
1.英語英文学科	E	
2.人間文化学科	H	
3.生活福祉文化学科	W	
4.生涯発達心理学科	P	

注…日文研—日本文化研究会

⑦…於マリアンハウス

平成15年度会計報告 収支報告

自：平成15年4月1日
至：平成16年3月31日

収入の部		支出の部		
費目	決算額	費目	予算額	決算額
前年度繰越金	35,787,121	総会費	700,000	377,289
終身会費	9,870,000	マリアンスカラシブ	1,300,000	0
預金利息	6,405	マリアン発行費	1,900,000	1,580,625
マリアンスカラシブ返済金	503,500	卒業記念費	600,000	549,675
クラスアクティビティ受講料	411,500	クラスアクティビティ	1,000,000	860,000
雑収入	28,300	支部活動・援助費	500,000	422,600
名簿代金	10,400	会議費	400,000	376,630
		交際費	300,000	195,302
		通信費	200,000	157,330
		事務費	250,000	48,932
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		予備費	200,000	111,045
		小計	9,350,000	6,679,428
		残高計		39,937,798
合計	46,617,226	合計		46,617,226

左記の通り決算報告申し上げます。

会計 阪村 道子
片桐 比佐

本決算を審査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

会計監査 藤田 祥子

平成16年4月28日

手芸ボランティアより

池淵 律子 (6C)

第一、第二金曜日、この活動の為、同窓生が色んな所から、結構遠い所からもマリアンハウスに集まってくれます。楽しかった事、びっくりした事などワイワイ話しながらも手は休めず、何時の間にかエプロン、バッグ等、手芸品が出来上っていきます。それらの売り上げ金はネパールの教育活動支援やその時々に関した事件や災害に、例えば昨年は中越地震またスマトラ沖大地震の被災地にも同窓会を通じ寄付しております。

有り難い事に活動当日来られない方も御自宅で作って送ってくださいます。又、手仕事の苦手な方もアイデア提供や材料調達、昼食の世話など、この活動への参加方法は色々ある様に思います。何かボランティアをと思っただけの方、ホンの少しの時間でも是非ご参加で協力下さいませ。お待ち申し上げます。

寄付金の内訳

- カリタスを通して
イラクの子供達へ 100,000円
- ネパールサポート
(ノートルダム教育修道女会) 100,000円
- ネパールイエズス会
(ラリグランス) 100,000円
- 中越地震義援金 209,350円
- スマトラ沖インド洋大地震
義援金 200,000円

○本部役員の改選について

新役員候補者は次のとおりです。総会において承認されますので欠席の方は委任状をお願いいたします。

同窓会新役員候補

2005/5・22 → 2007年総会

会長 人長久巳子 (東)
副会長 大田喜代子 (森)

書記 島田真由美 (渡辺)
下木淑子 (森橋)

会計 山岡博子 (村木)
重松 穀子 (長谷川)

庶務 吉田梨子 (井上)
羽鳥美登里 (川本)

(名簿) 田口博子 (田麿)
西村 邦子 (高橋)

マリアンハウス 中井 恭子 (塚本)
岩間 恵世 (芳川)

会計監査 片桐 比佐 (中田)

○お世話になりました

副会長 本多 ゆり

書記 杉崎 裕子

会計 小亀 峯子

庶務 (広報) 阪村 道子

(名簿) 大塚 彩子

マリアンハウス 森田 江実子

会計監査 栗原 和子

須田 英子

右記の役員は任期満了にともない今年度をもって退くことになりました。

支部だより

関東支部

関東支部長 香川 雅子 (14E)



みなさまいかがお過ごしでしょうか。関東支部からのお便りです。二〇〇四年度、役員が交代いたしました。

今回は私たち十四期の担当です。当初「できるかしら？大丈夫かしら？」と不安に思っておりました。けれども五人の新役員のチームワークで手探りをしながら、楽しくやっております。

不思議なもので卒業してから二十六年、それぞれ違った道を歩んでいるのに、同期生に会うと、一瞬のうちに懐かしい昔に戻ります。先生方の話をする、授業に出席をして、いたあの頃の私たちが、制服の話をする、ロッカーで着替えた時の後ろめたい気持ちが甦ってきます。

風のように過ぎ去った今までの人生の中で、たった四年間の学生生活でしたが、心には想い出という大きなプレゼントが残っています。役員という仕事をさせていただくお陰で、私たちは会う機会も話す機会も増えまし

た。これでもいい思い出になりますように。皆様に感謝をこめて。

平成十六年度 活動報告

十一月十四日(日)に市ヶ谷の援助修道会で「気づきの旅」―エニアグラムの学びを通して―というワークショップが催されました。第一期に卒業されたシスター野本の御指導によって「自分を発見する」有意義な一日を過ごすことができました。

ワークショップは、一般的な聞いているだけの講演会とは異なり、全員参加で行われます。自分が普段「私ってこのようなタイプの人間かしら」と思っている、他の人から見ると随分違った印象を持たれていることがあります。参加者と語ることによって自分の新しい面が見えてきます。私の意外な一面を引き出すユニークなものです。

当日は、「私を描く」とするどのような花でしょう―このテーマで絵を描き、発表しました。同じ花を描いたつもりでも、大きい花、密やかな花、群れる花など、個性溢れる人がいることが分りました。そして、同窓生と話しているうちに、親子関係、人間関係など、日頃の生活上の悩みも新しい視点から眺めることができるようになりました。二十八名の参加でしたが、終わる頃には皆仲良くなり、初めてお目にかかった学年の方々と以前からの知り合いのようなコミュニケーションができました。帰り際の参加者の顔も何となく輝いているように見えました。場

所を提供してくださった援助修道会、シスター野本、参加者の皆様、ありがとうございます。

今年は二年に一度の総会が十一月に開かれます。皆様どうぞご参加くださいませ。

◆関東支部新役員

支部長	香川 雅子 (14E)
副支部長	居戸恵理野 (14E)
会計	朝増 得子 (14C)
書記	河崎 利子 (14C)
庶務	北原 雅子 (14E)

中部支部

中部支部 品川 記子 (3C) 副支部長

中部支部はご存知のように愛知、岐阜、三重、静岡、長野に居住する卒業生で成り立ち、現在約六〇〇名ほどになりました。大学まで今ではほんとうに便利で近くなりました。

平成十六年十一月十三日中部支部総会と十九期生の企画による懇親会を開催いたしました。相良副学長、顧問のシスターベルナルド岩井、そして本部から大田会長はじめ三名の役員の方々にもご出席いただき三名で楽しい和やかなひとときを過ごしました。その中ではこれからの大学の発展、そして卒業してから再び大学に通い勉強を続けていられよう方々についての大変興味深いお話があり

ました。午後からは十九期生の幹事の方々の企画によるオカリナ演奏がありノートルダム女子大学という名にふさわしい数々の名曲にうつとり……その中の一曲「アヴェ・マリア」とはなんと美しい清らかな言葉なのでしょう!!

幹事の皆様ほんとうにありがとうございました。

支部の活動としての「聖書クラス」の名称が「NDおあしす」になりました。月一度のシスターセリオンと卒業生とのささやかな集りが続いております。シスターにお話しを伺って、日頃忘れかけているカトリック大学の貴重な教育、経験を思い出して、精神的に成長していくことの大切さを知る活動なので……と思っております。

この活動が細く長くこれからも続いていくことを心より願っております。

役員が交代いたしました。
これからの二年間くれぐれもよろしく
お願いいたします。

◆中部支部新役員

会 長	仙田悠美子 (3 E)
副 会 長	品川 記子 (3 C)
会 計	加藤 貞子 (10 E)
書 記	安達 昇子 (4 E)
会 計 監 査	杉浦木綿子 (4 E)



2004.11.13 RYOTEI「千代田」にて

九州地区

坂本 佳枝
(1 C)

九州地区集会を開催して

卒業生の皆様お元気ですか、台風や地震の被災地にお住いの方へお見舞い申し上げます。

私は昭和四十年卒業の第一期生で、熊本に在住致しております。ここ九州には今現在百八十二名の卒業生がいらっしゃいます。そこでこの度、同窓会本部のご協力を頂き、七月二十五日、九州地区集会として、熊本にて同窓会を開催致しました。大変暑い夏休み最初の日曜日でしたが、長崎、宮崎、大分、福岡、

熊本から計十名のご出席をいただき、大学からは、相良副学長も駆け付けて下さり少人数ではありましたが九州地区集会が出来ました。相良先生からは大学の今の様子を映像を交えながらのお話や、ノートルダム小学校創立時の興味深いお話等もお聞かせいただき、さらに出席者お一人ずつの学生時代の思い出話に花が咲き、不慣れな進行ではございましたが、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。これを機に次回はもっと多くの方が参加していただけるよう、期日や開催地を検討しお声掛けさせていただきますので、宜しくお願いします。



2004.7.25 クレアージュ熊本にて

同窓生短信

「子育て支援情報誌を

つくっています」

岡本美早子(24 E)



五歳の娘を幼稚園に
送りどけ、電車に飛
び乗り、私が足しげく

向かう先は「京都子連れパワーアップ情報」
の編集室。子育て支援団体、NPO法人おふ
いすパワーアップの事務所です。私は、そこ
で子どもの幼稚園や学校の合間にライターの
仕事をしています。

出産を機に専業主婦になった私は、八歳の
長男が二歳のころ、この活動に出会いました。
しかし、慣れてきたところに第二子出産と夫の
東京転勤が重なり中断。三年後また京都に戻
った時、私にはやっと少し自由な時間が出来
ました。家事も嫌いで、働くにも中途半端。
「やはり、本作りしかない」とマイペースな
がら再び書く仕事を始めました。

この会報が出るころは、「京都 幼稚園・
保育園情報」、「京都子連れパワーアップ情
報」八号を制作中。各園の情報は、データ集
めが大変です。八号では、子どもがかかる医
療機関ガイド、子連れお出かけマップ、私立

小学校はじめ教育情報など、子育てに役立つ
情報を掲載します。取材では、普段会えない
方々のお話を伺い、感動することしばしば。
お金ではない、やりがいを感じます。

核家族化が進む現代の子育てでは、本当に大
変。「どこへ行けばよいかわからない、誰に
聞けばよいかわからない」、そんな声が少し
でも減るよう、本作りに励んでいます。もし、
ご興味があれば、HPをのぞいてみて下さい。
<http://www.office-powerup.com/>

「大切な方々をお預りして」

川上加代子(4 E)



もし今貴女が老いた
とき神様が現れて「お
まえを長生き出来るよ
うにしてやる、それには寝たきりか、惚けか
どちらかを選べ、嫌がったらすぐ命はないも
のと思え!」と言われたら貴女はどう返事を
しますか。どちらを選びますか。

そうなんです今、寝たきりよりも圧倒的な
人氣が惚けなのです。
惚け＝痴呆 その真ただ中に居るのが私の
仕事です。

その中でも私もその方と同じように痴呆に
合わせてお話しする。過去に行ったり現在に
戻ったり、行きつ戻りつ。想像しながら話し

が進んでいくその想像力をたぐりよせながら
とても楽しい同じ時を過ごせます。それが介
護職の特権です。今の自分が自分と思えな
い、現実の問題と自分の思っていることがぴ
つたりと合わない、その合わない話に乗って
いけば何処までも続きます。

先日ある方のお腹が異常に膨らんでいるの
で「どうされましたか」と聞くと八十四歳の
A子さん「私、今臨月で明日出産日になっ
ているのです、私なかなか育てられないのであ
んな育ててくれますか」と言われました。私
はとっさに「分かりました。私に任せておい
て下さい。それにしても大きなお腹ですね」
と言いますと、ズボンをずらせて中からティ
シュペーパー、タオル、トイレットペーパー
等がわんさと出て来てやっと御出産あそばさ
れ、めでたしめでたしとなりました。それか
らです。ティシュペーパーが古い着物をほど
いた裏地、タオルが表地、それを併せておく
るみを作ると言われるのです。それには言葉
がつまってしまうました。

この世にたった一人私を生んでくださった
大切な人、少しでも長く生きていてほしい
人、そんな大切な大切な方々をお預かりして
一度しかない人生を真剣に生きてこられた生
き方を教えていただける、こんなすばらしい
仕事を与えて下さったことに感謝の思いで生
きる力を頂いている私です。

「アメリカの子供達とスポーツ」

パリツシユ万寿子(26 E)



現在、私は、アメリカの中西部、シカゴの郊外に、夫、娘(11才)息子(7才)と住んでいます。

私の生活の中心は、子供達で、放課後になると、スポーツ天国のアメリカらしく、塾のかわりに、子供達は、色々なスポーツクラブで練習に励みます。三時五分の終了ベルと同時に、子供達が校門から飛び出してきました。車で五分のサッカー場までの移動中、娘は、おやつを食べます。サッカー場に着けば、練習着に着がえ、練習開始時刻まで、宿題をします。そして、練習開始と同時に、今度は、息子を、YMCAの競泳チームの練習へと連れて行きます。そこで、三十分程、練習の様子をうかがい、又、娘を迎えにサッカー場へ。その後は、テコンドーのクラスが始まります。YMCAに戻り、テコンドーが始まるまでの間、娘は、宿題の残りをし、息子は、プールから上がり、テコンドーのユニフォームに着がえます。ここで、私のアシシー役は終わりです。子供達を迎えにいくのは、主人に任せ、私は、家に帰り、夕食の仕度をお願いします。日本の子供達が、塾に通い、ひたすら勉強している頃、アメリカの子供達は、ス

ポーツで汗を流します。これって、ちょっとしたぜいたくなような気がします。でも、その大切なものと、自分の子供達をみていて、思います。さて、もうすぐ、お腹をすかせた子供達が、帰ってきます。気合いを入れて、夕食を作らなげや。

四期生 桜井美智子さん

吹田市教育委員会より長年の文化活動の推進と市民文化発展の貢献により文化の日に表彰されました。おめでとうございます。

「私のライフワーク」

渡邊 悦子(22 E)



電機メーカーに就職して早十九年になります。商品企画の仕事を経て、十年前から人事

の仕事に携わっています。会社に入った年はちょうど男女雇用機会均等法施行の年。今までの道のりは決して楽なものではありませんでしたが、幸運にも男女格差を感じることなく、ここまで続けてくることが出来ました。三十代の早い時期に管理職になる機会に恵まれ、今は数人のスタッフと共に新しい人事制

度の構築に取り組んでいます。

今までの私のビジネスライフを振り返ると、すばらしい「人の出会い」に恵まれました。上司、同僚、部下、お取引先、社内外の人事ネットワークなど、老若男女問わず、育てていただいたと感謝しています。それぞれの出会いは、仕事だけでなく、人間性の幅を広げること、人生を豊かにすることにも大いに役立っています。交換した名刺は五千枚を越えます。

来年はビジネスライフも二十年目を迎え、後半をどのように生きるか。今度は自己の経験を通じ、今の子供たちに仕事に対する興味、夢を沸き立たせるような仕事情報の提供をしたいと考えています。フリーターやニートと呼ばれる人たちが多く中、村上龍氏のベストセラー「十三歳のハローワーク」のように、早い時期から自分の将来を考える手助けになるような活動をしていきたい。それを私のライフワークにしたいと思っています。

十 計 報

御冥福を心よりお祈り申し上げます。

市木 忠夫先生 平成15・11・25 帰天	山本 千秋様(29期) 平成16・1・12 帰天	丸山 包子様(8期) 平成16・7・23 帰天
山本 利治先生 平成16・3・20 帰天	柴田由美子様(22期) 平成13・10・1 帰天	高橋 瑞代様(6期) 平成16・11・21 帰天
渡辺 武男先生 平成16・3・11 帰天	山本 照美様(14期) 平成16・7・11 帰天	千田 薫様(14期) 平成16・12・16 帰天
シスターエヴリンメロイ 平成16・7・12 帰天	長谷川温子様(7期) 平成16・7・18 帰天	松井 葵様(2期) 平成17・1・2 帰天
シスターメリーマルグリット 平成16・11・30 帰天	同窓生に御不幸があらばたら、マリアンハウスまで御報告下さい。同窓会として弔電を送らせていただきます。	

第二回留学生のための

日帰りツアー

国際交流マリアン奨学基金の有効活用の一環として昨年から始まった「留学生のためのツアー」の第二回目は十二月四日、「宝塚歌劇鑑賞会」に決まりました。十二月と言っても暖冬で少しむしろ暑い感じもする曇空の下、学生二十名、役員六名は京都駅に集合し、一路「あこがれの宝塚」へ向いました。雪組公演「青い鳥を捜して」「タカラヅカドリームキングダム」を鑑賞し、その後、「ガーデンフィールズ」を見学して、帰路に着きました。学生全員が喜びいっぱい顔をして、楽しそうに歌劇の話しながら帰ったことは言うまでもありません。



人間文化学科三回生

宋英今（ソウ・エイキン）

十二月四日は私にとって、日本での留学生活の中で忘れられない一日となりました。日本の文化の一つである「宝塚歌劇」を見に行ったのです。これまでも「宝塚」という言葉をよく耳にし、その知名度も印象付けられていた私は、何日も前から胸がときめいていました。女性が男役をこれほど上手に演じるとは思いもよらず、「すごいー」と感動してしまいました。二部構成の演劇とショーは、あつという間に終わりました。私達は異口同音に「また会おうねー」と拍手の音がまだ響いているような劇場をうしろ髪を引かれる思いであとにしたのでした。

人間文化学科一回生

李香蘭（リ・コウラン）

私にとって初めて日本の歌劇を見る経験でした。私の母国、中国では「宝塚歌劇」のよう



な女性だけの歌劇団はありません。舞台は華やかで、衣裳は華麗でした。特にショーの最後に全員が孔雀の羽根のようなものを身につけて踊る姿はとても素敵でした。私はその雰囲気感動し、すっかりタカラヅカファンになってしまいました。また是非行きたいです。

国際交流マリアン奨学基金

募金のお礼とお願い

大学創立四十周年を記念して外国人留学生を支援するための国際交流マリアン奨学基金を設立以来、同窓生の皆様からたくさんのご寄付を頂きまして誠に有難うございます。

平成十六年六月十七日ユニソン会館同窓会室におきまして、七名の二回生在籍の外国人留学生に教科書代として一人当たり二万円を授与いたしました。その席で留学生一人ひとりから勉学に対する強い意欲や生活の状況を聞き、同窓会として奨学金の必要性をますます深く感じました。この奨学基金に今後も一人でも多くの同窓生のご理解とご協力をお願いいたします。

一口 三、〇〇〇円（何口でも可）
郵便振替口座番号

〇〇九八〇一五―五七七二三

♪ ノートルダムファミリーコンサート ♪ …心ひとつに…

2005年9月3日(土) 14:00~

於：京都コンサートホール チケット¥1,500

- ソプラノ：西村 薫 ● パイプオルガン：桑山彩子 ● ヴァイオリン：福原映子
- 伴奏：岡村明日香、吉澤友理恵、佐井可奈子

ND小中高在学学生、父母、卒業生、教職員、およびND関係者の皆さんによる

ハレルヤ大合唱 指揮：大山平一郎 (小学校1回卒)
大阪シンフォニカー交響楽団 主席指揮者

ノートルダム女学院・小学校オーケストラ・ND女学院コーラスクラブ
京都ND女子大学合唱団・大学同窓会マリアンコーラス
合唱指導：遠藤政樹、野木芳枝、東 朝子
連絡先：野木

◆ 学年委員の変更 ◆

須道 郁子(1E) 前田 陽子(7E)
山本 秀子(1C) 山岡 和恵(7C)
富田 靖子(2E) 大槻 純子(10C)
篠崎加代子(3E) 阪上 和子(10C)
細川 晴代(3C) 小坂由利子(10E)
阪村 道子(5E) 西岡由美子(12E)
林寺真智子(5E)

● ホームカミングデーの御案内 ●

平成17年11月2日(水)は卒業生が母校に招待されます。多数の御参加をお待ちしています。
詳細は大学ホームページ
(<http://www.notredame.ac.jp/>)
をご覧ください。

● 卒業式への御招待 ●

来春は5期生が招待されます。
式典後昼食が用意されています。

平成18年3月9日(木)

● 第3回パソコン教室中高年講座 ●

ゆっくり学ぼう初心者もできます!

今年こそ始めてみませんか。3回でマスターできる

場 所 京都ノートルダム女子大学 ユニソン会館1F
ビジネスアカデミー

定 員 30名 先着順

受講料 3回 3,000円(会員) 4,500円(会員外)
全講座テキスト代 1,000円

※受講料は事前に申し込み書に添えて、ビジネスアカデミーに直接お持ちください。またはマリアンハウスに直接お持ち下さい。

日 程 6月13日(月) Windows/インターネット/メール入門
6月20日(月) ワードの基礎的な編集機能
6月27日(月) 案内書・ハガキ作成
時間 10時30分~12時30分

申込・お問い合わせ先

ビジネスアカデミー

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1

Tel.075-706-3765 Fax.075-706-3773

主催 京都ノートルダム女子大学 同窓会
共催 ノートルダム女学院 同窓会
後援 京都ノートルダム女子大学 ビジネスアカデミー

“唐崎祈りの家”

黙想会に参加して

初鹿 光子(2E)

思い出せば、毎週のように台風が列島に上陸していた今年の九月、十月。そんな天候の合い間を縫って、私たちND卒業生の何人かは、引き寄せられるようにびわ湖畔の“唐崎祈りの家”に集まりました。

ND・おあしす主催の一泊黙想会のお話を伺った時から“必ず参加する”との強い思いがありました。忙しさに追われた日々を重ねている自分を、無理やりにでも立ち止まらせるチャンスと受け止めたからです。これまでの自分、今の自分、これからの自分を心静かに見つめる時間が持てる、と期待しました。



二日間、シスターセリンの絶妙のガイドのもと、豊かなびわ湖に抱かれて子守唱を聞いて

俳句―黙想会に寄せて―

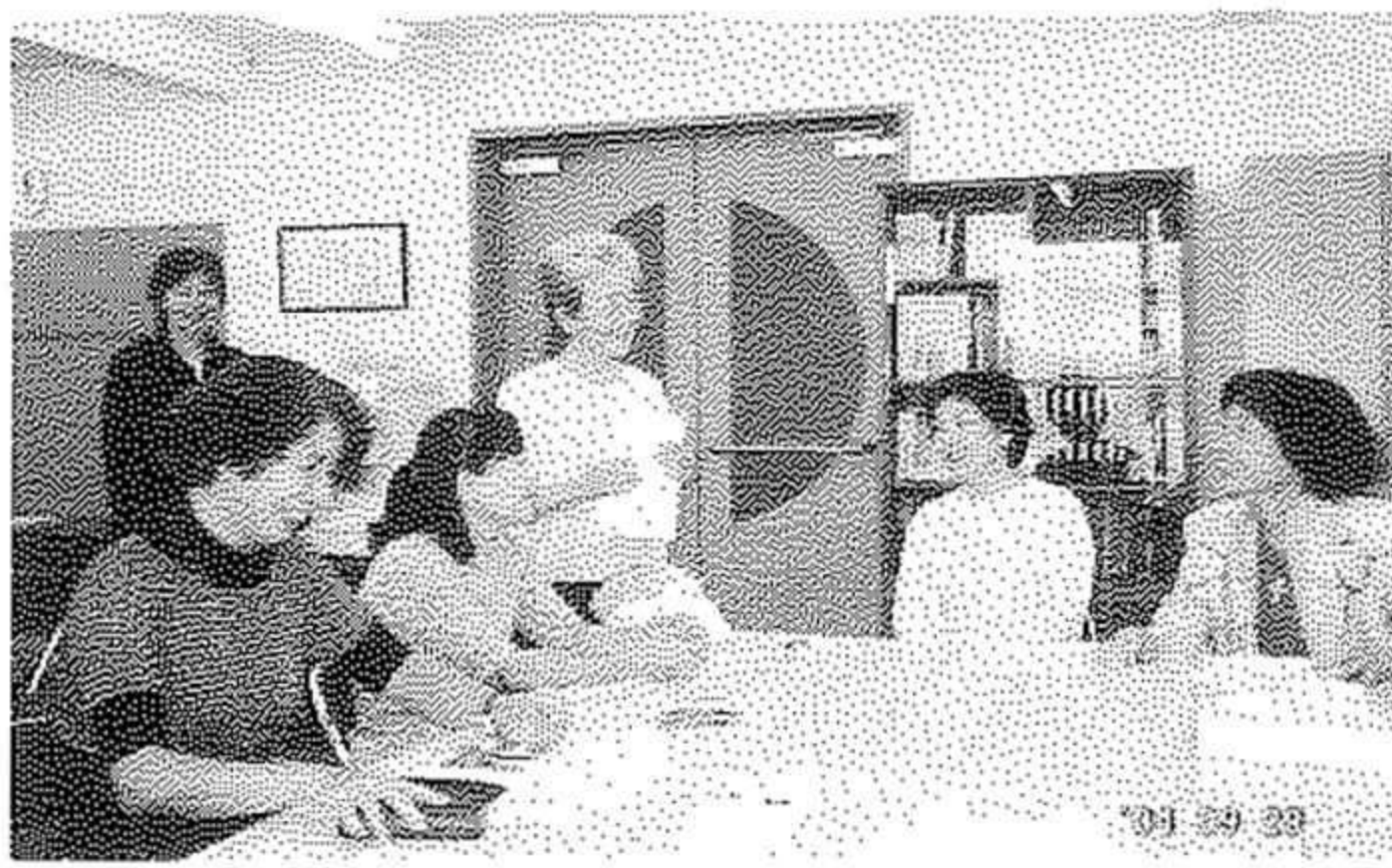
芦澤 元子(2E)

お祈りの一人ひとりの声さやか
湖に浴ふ黙想の家小鳥来る
久に読む旧約聖書虫のこゑ

ている赤ちゃんのような安らぎの中にいました。ふと我に返ったとき、神さまとの出会いを感じて心震えるものがありました。

今も私の心に鮮やかに焼き付いている風景。お隣りのメリノールのお庭を散策した時、咲き残っていた名も知らぬ小さな白い花。唐崎神社で仰ぎ見た松の老名木の、言葉が降つて来そうなたたずまい。寄せては返すびわ湖のさざ波は、眺めていると、時間が止まっているように感じる悠久の繰り返し。三階にある御聖堂は、湖面

につきでた“へさき”に十字架がかけられたような設計で、何時間居ても離れ難い場所。導かれてここを訪れ、大切な出会いのお恵みをいただきました。ND卒業生であることが改めて嬉しく、誇らしく、感謝の思いは深まるばかりです。



～NDおあしす 黙想会(一泊)の御案内～

日時：
7月11日(月)～12日(火)
11月21日(月)～22日(火)
いずれも18時～16時

(いずれも定員15名)

場所：唐崎ノートルダム修道院

お問合せ先：☎520-0106

大津市唐崎一丁目3-1

電話 077-579-2937

077-579-2884

シスターセリン松本

英会話

安達眞理子(10E)

小中高校と公立で過ごした私は、大学でもシスターの授業がなく、この英会話のクラスで初めてでした。シスターモリーンは、本当にお人柄もすばらしくて、失礼ながら、お茶目で可愛くていらして、色々なアイディアで楽しく英会話が学べる様に考えてくださいます。新聞の興味の持てる記事、休日の過ごし方、好評のお料理等、皆さんの発表は、興味深く、楽しく、時間が過ぎていきます。海外生活経験者の方々の素晴らしい発音に、頑張っている意識が話さなければと思ったり、帰りの道でクラスの時に思い出せなかった英単語、表現方法が頭に浮かび、次回こそは、と思ったりの日々です。昨年より、大学初期の先輩達が参加され、個性豊かなクラスです。この九月、国際ガラス会議参加者のうち希望者に、大学でのお茶会が催され、その道案内のボランティアをさせていただき、抹茶、茶せん、茶杓等を購入された方が多くあったと聞き、感激しました。シスターや回りの方々の暖かいサポートのもと、大学での緊張の伴った楽しい時間が過ごせ、アクティビティーに参加出来る幸せを感じています。

平成17年度

マリアンハウス チャリティーバザー 10月20日(木)

平成16年度も恒例のバザーがマリアンハウスにて開催されました。毎年特徴のあるものになるよう工夫しておりますが、今回は、特にマリアンコーラスにご協力願いました。来館者と一緒に明るい歌声がラウンジいっぱい広がり、おいしい手作りケーキ、食事、ショッピングと楽しいひと時を過ごしていただきました。なお収益金は、ネパールの子供達、ラリグランスクラブに加え、昨年は新潟中越地震の被災地にも寄付されました。今年も会員の皆様のご協力で沢山の寄贈品をお送り下さいますようお願い致します。

マリアンハウススタッフ

安井智恵子(3C) 北尾 禮子(3C)
濱田美智子(6E) 土坂比呂子(6C)
西岡由美子(12E) 瀧井 優子(23C)

寄贈品送り先

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628
マリアンハウス
TEL&FAX 075-701-9149

りとは多方面の企画をしてみました。今年も楽しいプログラムを用意しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。なお会報紙の最後にプログラムを記載しておりますので、参考にしていただき直接マリアンハウスにお申し込み下さい。メールアドレスのある方は、その時お知らせいただきますと、次回からは、こちらからご案内致します。



マリアンコーラスの歌声が響く

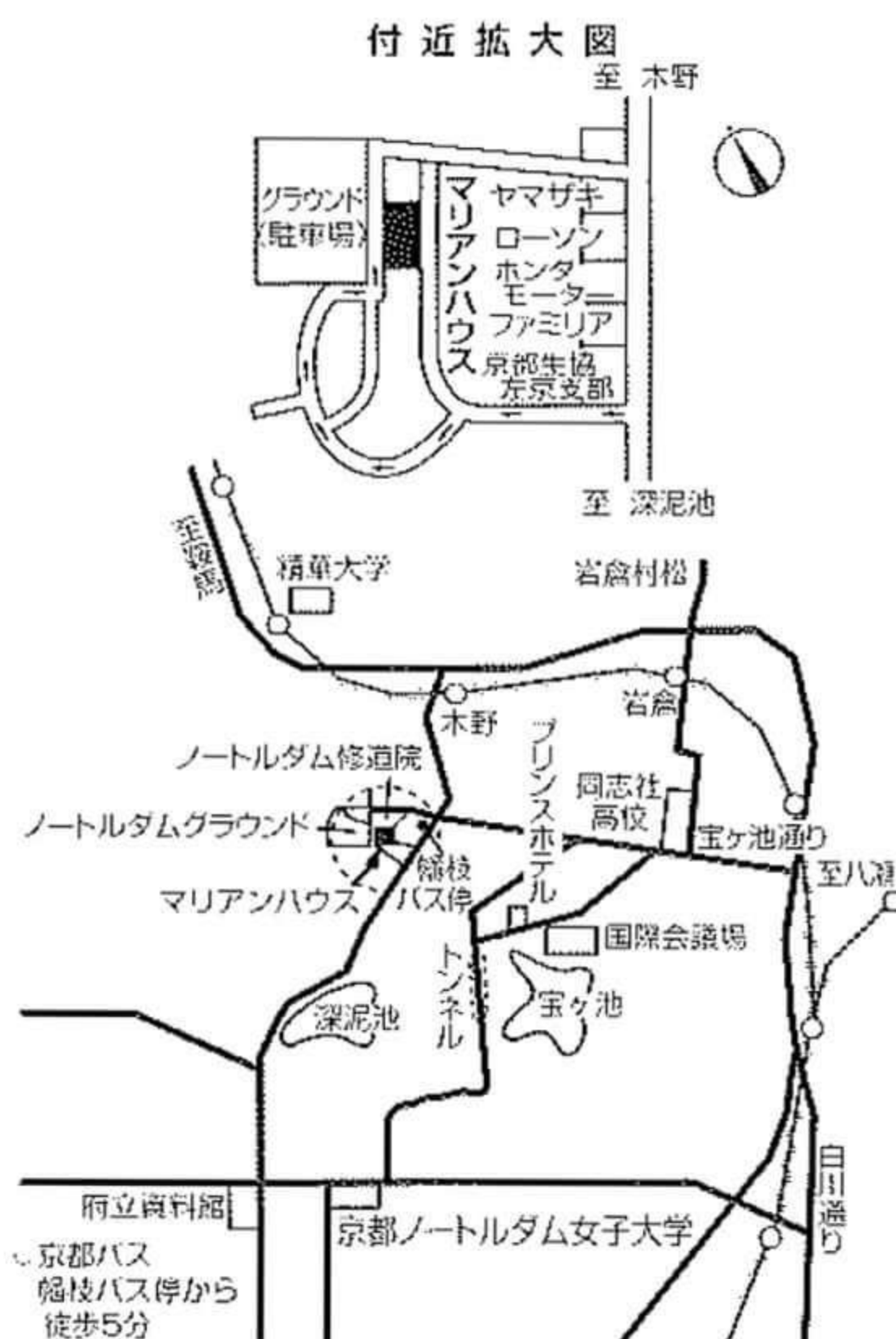


着付講習会

マリアンハウス運営委員会のお知らせ
会員の皆様の日常生活に役立つ、斬新な文化プログラムを同窓生のために年数回開催しております。昨年は、講演会、ゆかた着付け、エアロビクス、そしてプリザードフラワー、雛人形、ケーキ作

マリアンハウス

所在地	〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628 TEL.FAX 共 075-701-9149
開館曜日・時間	月・水・金 10:00~15:00 (但し、上記以外でも相談の上、使用可)
年間休館日	●夏休み 8/1~8/31 ●冬休み 12/20~1/10
会館使用料	1F ホール 3,000円 2F ●和室(8畳)1,500円 ●和室(6畳)1,500円 ●洋室(6畳)1,500円 使用時間: 10:00~15:00 冷暖房、台所使用可
宿泊	1泊1人2,500円(2名より10名迄) チェックイン: 15:00~17:00 チェックアウト: 10:00迄 キャンセル: 5日前までに以後は50%のキャンセル料 冷暖房、台所、浴室使用可



編集後記

皆様のご協力のお蔭を持ちまして本年もマリアンを発行する事が出来ました。ありがとうございます。

広報 大塚・森田

→→→→→ アクティビティー案内 ←←←←←

マリアンハウスプログラム

月 日	時 間	内 容
H17 6月22日(水)	10:30~12:30	料理(変わりずし) 二股依子先生(18期)
7月20日(水)	10:30~12:30	フラワーアレンジメント 米井祐子先生
9月21日(水)	10:30~12:30	バザーの作品作り
10月20日(木)	10:30~14:00	チャリティーバザー
11月21日(月)	10:30~12:30	ケーキ作り 西村玲子先生(女学院1期)
H18 3月22日(水)	10:30~12:30	トールペイント 三田千寿子先生
4月19日(水)	10:30~12:30	ガーデニング 前元先生

※諸般の事情により日程の変更があります。お問合せはマリアンハウスまで

クラス	講 師	内 容	場所・日時	責 任 者
英 会 話	シスター モリーン	能力に関係なく楽しめる英会話	ユージニア館1階 同窓会室 第2・第4月曜日 10:30~12:00 5月9日より開始	堀江真知子(2E) 安達真理子(10E)
書 道	寺田九絲	漢字は三體(さんたい) 千字文、 かなは梅雪かな帖等をけいこする	マリアンハウス 第1・第3水曜日 10:30~12:00 5月18日より開始	稲本美也子(18E)
フランス語	阿部哲三	ミッシェル トゥルニエの小説を 読みながら文法も学んでいく	ユージニア館1階 同窓会室 第1・第3火曜日 10:30~12:30 5月17日より開始	堀井 都(6E) 池淵 律子(6C)
マリアン コーラス	東 朝子	ストレッチ、発声練習で身体をほ ぐし、聖歌、季節や時の歌で心を 豊かにする	ユニソン会館B1 音楽練習室 第3木曜日 10:30~12:30 5月19日より開始	岩田真理子(12C) 黒柳まゆみ(13E)
英語で 書こう会	シスター セリン松本	新聞、エッセイより選んだ数行を 英訳し、参加者の訳例に解説指導 をうける	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00 5月27日より開始	丹羽 知子(9E)
NDおあしす 京 都	シスター セリン松本	より豊かに生きるために聖書を日 常生活と関連づけて読む (会費無料)	マリアンハウス 第4金曜日 13:00~15:00 5月27日より開始	丸山ヒデ子(4E)
NDおあしす 名古屋	シスター セリン松本	同窓生のためのオープンスペ ース。 共に学び、祈り、支え合い、は げまし合う。	愛知県中小企業センター (052-561-4121) 名古屋駅前徒歩5分 第2金曜日 10:30~12:00 祭日は休講	仙田悠美子(3E)
手 芸 ボ ラ ン テ ィ ア		手芸品製作・販売 あなたの作品・アイデアをお寄せ 下さい	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30~15:00 5月20日より開始	岡 和(4E)

※各クラス受講料は学期毎に1,500円(3回/学期)又は2,500円(5回/学期)。

※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。

日 本 文 化 研 究 会	2005.6.20.(月) 大覚寺(写経)参詣 9.20.(火) M I H O美術館見学 11.22.(火) 大山崎山荘 美術館見学 2006.1.16.(月) 新年会(雅楽) 3.13.(月) くみひも体験 4.17.(月) 神戸方面散策	堀田佳津栄(12E) 松本 恵子(12E) 岩田真理子(12C) 北澤みよ子(12C)
---------------	--	--